

第20回つくばみらい市長杯軟式野球大会 香取市予選大会 要綱

1. 趣旨

本大会を通じて、少年少女の、スポーツを愛し、楽しみ、相互が協調・調和できる心と、総合的な運動による身体の健全な育成を図り、各チームの伸展に寄与すると共に、軟式野球の普及に努める。

我が国初の実測日本地図作成にかかわった伊能忠敬と間宮林蔵のゆかりの地である香取市とつくばみらい市が、平成30年1月19日に「友好都市協定」を締結したことから、未来を築く少年少女の交流を通じ友好関係の更なる推進を図る。

2. 主催 香取市スポーツ少年団

3. 後援 香取市スポーツ協会

4. 主管 特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会

5. 期日 令和 8年 9月 19日(土) 雨天順延
20日(日)
21日(月祝)
予備日 日程調整の上決定

6. 会場 香取市与田浦運動広場 A
(香取市津宮4992番地85)

7. 集合・受付 午前7時30分

8. 集合場所 香取市与田浦運動広場

9. 試合開始 午前8時30分

10. 試合会場 香取市与田浦運動広場 A

11. 表彰 優勝・準優勝 賞状

12. つくばみらい市長杯出場権 優勝チーム

13. 審判員

- ① 各チーム2名の審判員を帯同すること。
(1名は球審経験者であること。)
- ② 審判服を着装すること。
- ③ 担当する試合は、組合せ表に記載の審判担当表による。
- ④ シート番号の若いチームが球審及び2塁、他チームは1塁及び3塁を担当する。

14. 記録員

- ① 各チーム1名の記録員を帯同すること。
- ② 自チームの試合時、対戦相手チームの記録員と協力し、実況アナウンス及び得点並びに試合経過を記録する。

15. 競技運営に関する注意事項

- (1) 対戦表決定後は、選手の追加、変更及び背番号などの変更は認めない。但し、疾病・負傷等の特別な場合は、資格審査の上、認めることもある。
- (2) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (3) 打順表(メンバー表)の提出
大会本部へ試合開始40分前に監督、主将が3部(放送する場合は4部)持参してトスと球場等の諸注意を確認する。
- (4) シートノック
① 補助員としてコーチ(背番号28・29)を認める。
なお、コーチ1人のブルペン捕手を認める。(試合開

始までの時間を許可する)

- ② 後攻チームより行い、時間は5分間とする。
- ③ ノッカーも必ず選手と同様のユニフォーム並びに、捕手はプロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用すること。
- ④ 大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。

(5) 雨天の場合

- ① 雨天時の態度は、午前7時00分に決定するので、各チームは事務局へ問い合わせること。
- ② 雨天の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な場合は試合を行う。
- ③ 当日試合を全く行わない場合と、試合開始時間を繰り延べて行う場合があるので、大会本部からの連絡に注意すること。
- (6) アウト時のボール回しは認めない。
- (7) 大会中の怪我等事故については、各チームで責任を負うものとする。
- (8) その他試合の進行については、球場責任者及び球場責任審判員の指示に従うこと。
- (9) 試合中の選手への指示は、ベンチ入りした監督・コーチに限る。尚、選手を委縮させるような言動は禁止する。

16. 競技規則

- (1) 最新年度「公認野球規則」並びに(公財)全日本軟式野球連盟が発行する最新「競技者必携」及び「本大会規定」を適用する。
- (2) 使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球「J号球」とし、主催者が用意する。
- (3) 金属・ハイコン(複合)バットはJ・S・B・Bのマークをつけた公認のものに限る。

17. 本大会規定

- (1) 大会は、トーナメント方式で行う。
- (2) 試合は、6イニングスとする。但し、試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らない。
- (3) コールドゲームは、暗黒、降雨等及び得点差による場合とし、暗黒、降雨による場合は、4回以降均等回の得点をもって勝敗を決する。
得点差による場合は、3回均等回終了後以降10点差以上、及び4回均等回終了後以降7点差以上の時に適用する。決勝戦も同様とする。
- (4) 6回を完了又は試合開始後1時間30分を経過した均等回で同点の場合は、直ちにタイブレーク方式とする。
- (5) タイブレーク方式は、継続打順で、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者として、無死1塁2塁の状態から1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
- (6) タイブレーク方式で1イニングを完了しても決着がつかないときは、試合終了時に出場していた選手による抽選で勝敗を決定する。

(7) 投手の投球制限

- ① 投手の投球数は、1日70球とする(4年生以下の投手については、60球とする)。但し、打撃中に70球(4年生以下は、60球)に達した場合は、その打者の打撃が完了するまでとする。
- ② 大会日程の都合上、1日2試合を行うことも想定しているため、その場合には、投手の投球制限については、

1 試合4イニング（特別延長も含めて12アウト・4
年生以下は1 試合3イニング9アウト）とすることも
ある。

- (8) 抗議権を有する者は、監督（ファールライン以内）及び当該プレーヤーとする。
- (9) 捕手（控え捕手も含む）は、プロテクター、レガース、マスク（スロートガード付き（一体化も可））、捕手用ヘルメット及びファウルカップ（女子選手は除く）を着用すること。
- (10) 各イニングの投球練習に際し、プロテクター等の装具を着けない選手が捕球する場合は、選手の怪我防止のため、立位で捕球すること。
- (11) 指名打者ルールを使用することができる。
（詳細は競技者必携の通りとする）
- (12) 競技者必携「投手の1 2秒ルール及び2 0秒ルールの取り扱い基準」は、適用しない。

1 8. 合同チームについて

出場チームは、参加する1チームの 部員数が8名以下（1・2年生を除く）のチーム同士の場合は連合を認める。

※連合は選手数が少ないチーム同士数チームでも可能とする。

連合チームの中の1チームの部員数が 9名を超えても連合していた他のチームの選手数が満たない場合はそのチームの選手登録は救済処置として認める。ただし主催者の承認をえることとする。

1 9. 大会事務局

特定非営利活動法人水郷軟式少年野球協会 事務局
事務局長 鎌倉徹也
電子メール tkamakura555@gmail.com
携帯 Tel 090-1500-5534

- 2 0. 止むを得ず不参加となる場合は、早急に事務局へ連絡すること。